

「令和2年度 学校評価を終えて」

学校評価とは、生徒がより良い教育活動を享受できるように、その教育活動等の成果を検証し、学校運営の改善と発展を目指すための取り組みです。本校では、学校評議員を中心とした学校関係者評価、教職員の自己評価、生徒アンケート、保護者アンケート等を実施しています。

今年度の学校評価を「学校評価票」にまとめました。評価の結果を次年度の学校運営・教育活動の改善に活かしてまいります。

今年度は学校組織目標「足南ビジョン」と学校評価を連動させ組織的運営の基盤を整備するために、生徒アンケート、保護者アンケートの項目の見直しを行いました。その結果について報告いたします。(回答は「ABCD」を「4321」の4点法に換算して平均は2.5点となり、分析しております。)

生徒アンケートについては、どの項目も2.5を大きく上回って、概ね良好な評価となっています。特に評価が高い項目としては、6「足利南高校では、自分の進路や興味・関心に応じて主体的に選択して学ぶことができ、学ぶ楽しさや充実感がある。」10「私は、校則や社会のルールを守り、挨拶など基本的生活習慣の向上に務めている。」が挙げられ、「主体的に選択して学ぶ」という総合学科の特色や、「基本的生活習慣の徹底」という本校の指導の特色が積極的に評価されていると考えられます。また、7「足利南高校では、校内の安全と秩序が保ており安心して学校生活を送ることができる。」8「足利南高校では、先生が生徒の相談に応じてくれる。」においても平均点が高く、「安全・安心」「教育相談」という領域においても肯定的な評価が得られています。もう一つ特徴的なのは年次が上がるにつれて得点が下がっていく傾向が見られます。特に、4「私は、学校生活が楽しい。」13「私は足利南高校に入学してよかったと思う。」という項目は学校適応感を反映していますが、年次が進むにつれて得点が下がっています。こうした傾向は、成長に伴って自己理解が深まり、自己評価が厳しくなることによるものと思われるのですが、一方で生徒自身の肯定的な評価の減少には注意が必要と思われる。今後は生徒が自己肯定感を持てるような指導の工夫に努めていきたいと思っております。

保護者アンケートについては生徒アンケート同様、概ね良好な評価となっています。特に評価の高い項目としては、4「足利南高校では、自分の進路や興味・関心に応じて幅広い選択科目の中から主体的に選択して時間割を作成することができ、学ぶ楽しさを体験できる。」10「足利南高校に子どもを入学させてよかったと思う。」が挙げられています。このことから保護者の皆様には「主体的に学ぶという本校・総合学科の特色を理解した上で、「子どもを入学させてよかった」と満足していただいていると思われる。

アンケートの結果は概ね良好な評価をいただいておりますが、数値には出てこない事柄や課題についてなお一層の改善に向けた取り組みを進めてまいります。